

2 火災の概要

(1) 概 要

令和4年中における火災の概況は、出火件数634件、これらの火災による被害は、損害額27億2,237万2千円、死者34人、負傷者95人、焼損棟数530棟、建物焼損床面積27,953㎡、同表面積1,706㎡、林野焼損面積394a、り災世帯数306世帯、り災人員687人となっている。

○ 表2-1 令和4年中の火災の概況

区 分		令和4年	令和3年	増減数	増減率	
		(A)	(B)	(C)=A-B	(C/B*100)	
出火件数	建物火災	333件	335件	△2件	△0.6%	
	林野火災	22件	18件	4件	22.2%	
	車両火災	71件	67件	4件	6.0%	
	船舶火災	0件	0件	0件	0.0%	
	その他火災	208件	191件	17件	8.9%	
	計	634件	611件	23件	3.8%	
焼損棟数	全焼	164棟	123棟	41棟	33.3%	
	半焼	26棟	41棟	△15棟	△36.6%	
	部分焼	141棟	137棟	4棟	2.9%	
	ぼや	199棟	197棟	2棟	1.0%	
	計	530棟	498棟	32棟	6.4%	
焼損面積	建物	床面積	27,953㎡	19,469㎡	8,484㎡	43.6%
		表面積	1,706㎡	2,098㎡	△392㎡	△18.7%
	林野	394a	368a	26a	7.1%	
死 者		34人	37人	△3人	△8.1%	
負 傷 者		95人	89人	6人	6.7%	
り災世帯	全 損	85世帯	87世帯	△2世帯	△2.3%	
	小 半 損	221世帯	207世帯	14世帯	6.8%	
	計	306世帯	294世帯	12世帯	4.1%	
り 災 人 員		687人	659人	28人	4.2%	
火災損害額	建物火災	建 物	1,224,066千円	860,253千円	363,813千円	42.3%
		収容物	1,425,770千円	410,182千円	1,015,588千円	247.6%
		計	2,649,836千円	1,270,435千円	1,379,401千円	108.6%
	林野火災	3,041千円	606千円	2,435千円	401.8%	
	車両火災	43,800千円	39,214千円	4,586千円	11.7%	
	船舶火災	0千円	0千円	0千円	0.0%	
	その他火災	25,695千円	21,555千円	4,140千円	19.2%	
	爆 発	0千円	88千円	△88千円	△100.0%	
合 計		2,722,372千円	1,331,898千円	1,390,474千円	104.4%	
出火率 (人口1万人あたりの出火件)		3.26件	3.11件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数が 23 件 (3.8%) の増加となっており、火災種別ごとに見ると、建物火災が 2 件 ($\Delta 0.6\%$) 減少し、林野火災が 4 件 (22.2%)、車両火災が 4 件 (6.0%)、その他火災が 17 件 (8.9%) 増加した。船舶火災は増減なし。

損害額を前年と比べると、総額が 13 億 9,047 万 4 千円 (104.4%) 増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災が 13 億 7,940 万 1 千円 (108.6%)、林野火災が 243 万 5 千円 (401.8%)、車両火災が 458 万 6 千円 (11.7%) その他火災が 414 万円 (19.2%) 増加し、爆発が 8 万 8 千円 ($\Delta 100.0\%$) 減少した。

次に、令和 4 年中の火災を 1 日あたりで見ると、出火件数 1.7 件、損害額 745 万 8 千円、建物焼損棟数 1.5 棟、建物焼損床面積 76.6 m^2 、建物焼損表面積 4.7 m^2 、林野焼損面積 1.1a となっている。

○ 表 2-2 1 日あたりの火災による損害

区分	単位	令和 4 年 (A)	令和 3 年 (B)	増減数 (A - B)
出火件数	件	1.7	1.7	0.0
損害額	千円	7,458.6	3,649.0	3,809.6
建物焼損棟数	棟	1.5	1.4	0.1
建物焼損床面積	m^2	76.6	53.3	23.3
建物焼損表面積	m^2	4.7	5.7	Δ 1.0
林野焼損面積	a	1.1	1.0	0.1

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比 52.5% で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災 (堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災 (原野・牧野・天然林・人工林の火災) の順となっている。

前年構成比と比べると、林野火災、車両火災及びその他火災が増加し、建物火災が減少した。

○ 表 2-3 火災種別出火件数の構成比

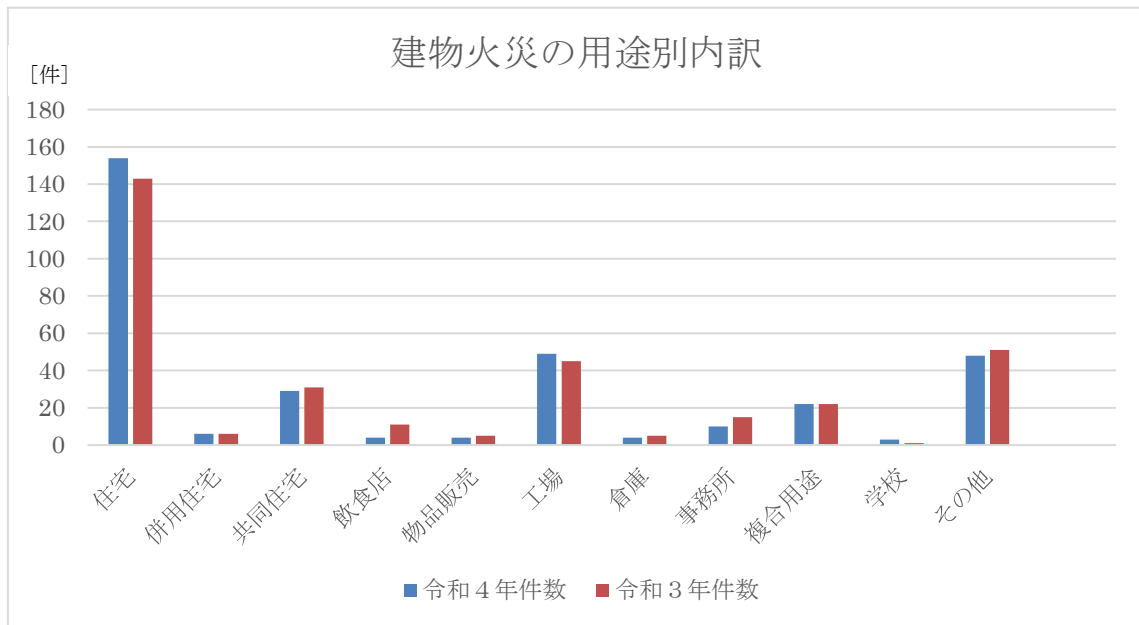
	令和 4 年		令和 3 年	
	出火件数 (件)	構成比 (%)	出火件数 (件)	構成比 (%)
建物火災	333	52.5	335	54.8
林野火災	22	3.5	18	2.9
車両火災	71	11.2	67	11.0
船舶火災	0	0.0	0	0.0
その他の火災	208	32.8	191	31.3
計	634	100	611	100

イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が154件（46.3%）、併用住宅が6件（1.8%）、共同住宅が29件（8.7%）発生しており、これらを合わせると住宅用途の建物が56.8%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、複合用途（一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）の順となっている。

○ 表2-4 建物火災の用途別内訳 【単位：件・%】

区 分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
令和4年	件数	154	6	29	4	4	49	4	10	22	3	48	333
	構成比	46.3	1.8	8.7	1.2	1.2	14.7	1.2	3.0	6.6	0.9	14.4	100
令和3年	件数	143	6	31	11	5	45	5	15	22	1	51	335
	構成比	42.7	1.8	9.3	3.3	1.5	13.4	1.5	4.5	6.6	0.3	15.2	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、1月～3月が198件（31.2%）と最も多く発生しており、次いで4月～6月183件（28.9%）、10月～12月145件（22.9%）、7月～9月108件（17.0%）の順となっている。

前年に比べると、7月～9月、10月～12月の件数は減少しているが、4月～6月の比率が大きく増加している。

○ 表2-5 季節別出火状況

区 分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
令和4年	出火件数(件)	198	183	108	145	634
	構成比(%)	31.2	28.9	17.0	22.9	100
令和3年	出火件数(件)	197	142	124	148	611
	構成比(%)	32.2	23.2	20.3	24.2	100

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、原因が判明している中では、たき火による火災が 62 件 (9.9%) で 1 位となっている。続いて、たばこ 42 件 (6.6%)、火入れ 42 件 (6.6%)、こんろ 37 件 (5.8%) の順となっている。

昨年と比べると、こんろが 1 件 (2.8%)、火入れが 10 件 (31.3%)、電灯電話配線が 2 件 (7.7%)、放火の疑いが 15 件 (93.8%) 及びストーブが 2 件 (11.8%) 増加している。

○ 表 2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

【単位：件・%】

	令和 4 年 (A)			令和 3 年 (B)			増減	増減率
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	(C)	(C/B) * 100
たき火	1	62	9.9	1	65	10.6	△ 3	△ 4.6
こんろ	4	37	5.8	3	36	5.9	1	2.8
たばこ	2	42	6.6	2	52	8.5	△ 10	△ 19.2
放火	7	26	4.1	5	26	4.3	0	0.0
火入れ	2	42	6.6	4	32	5.2	10	31.3
電灯電話配線	6	28	4.4	5	26	4.3	2	7.7
放火の疑い	5	31	4.9	8	16	2.6	15	93.8
ストーブ	8	19	3.0	7	17	2.8	2	11.8
マッチ・ライター	9	11	1.7	9	15	2.5	△ 4	△ 26.7
焼却炉	11	7	1.1	11	8	1.3	△ 1	△ 12.5
配線器具	9	11	1.7	10	14	2.3	△ 3	△ 21.4
その他		249	39.3		222	36.3	27	12.2
不明 (調査中を含む)		69	10.9		82	13.4	△ 13	△ 15.9
計		634	100		611	100	23	3.8

(4) 損害額

令和 4 年中の火災による損害額は、27 億 2,237 万 2 千円で、前年に比べ 13 億 9,047 万 4 千円増加している。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の 97.4% を占めている。次いで、車両火災 (1.6%)、その他火災 (0.9%)、林野火災 (0.1%) の順となっている。

火災種別ごとに 1 件あたりの損害額を前年と比べると、建物火災が 416 万 5 千円、林野火災が 10 万 4 千円、車両火災が 3 万 2 千円、その他火災が 1 万 1 千円増加している。

○ 表 2-7 火災種別損害額【単位：千円・%】

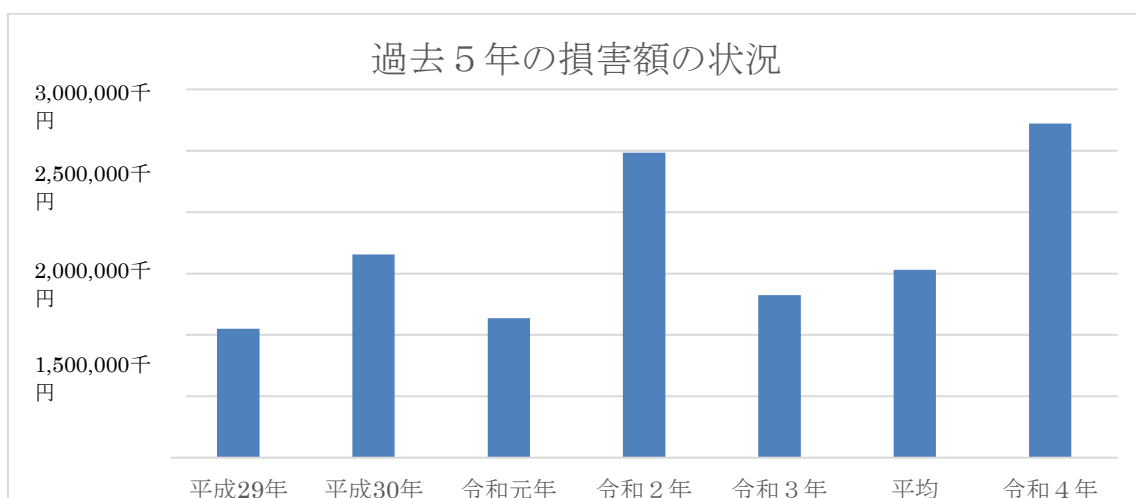
	令和 4 年			令和 3 年			増減	
	損害額	1 件	構成比	損害額	1 件	構成比	1 件	率
建物火災	2,649,836	7,957	97.4	1,270,435	3,792	95.4	4,165	109.8
林野火災	3,041	138	0.1	606	34	0.0	104	305.9
車両火災	43,800	617	1.6	39,214	585	2.9	32	5.5
その他火災	25,695	124	0.9	21,643	113	1.6	11	9.7
計	2,722,372		100	1,331,898		100		

※「1 件」は 1 件あたりの損害額

次に、令和4年中の火災による損害額は過去5年間で一番多い。また、過去5年間の平均損害額と比べると、建物火災は1.8倍、林野火災は約11倍と多くなっており、総額でも約1.8倍となっている。

○ 表2-8 過去5年間の損害額の状況【単位：千円】

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆 発	総 額
平成29年	1,009,575	73	29,981	9,474	702	1,049,805
平成30年	1,601,266	394	33,772	18,863	0	1,654,295
令和元年	1,067,121	261	55,520	13,921	0	1,136,823
令和2年	2,433,446	0	40,292	10,136	1,754	2,485,628
令和3年	1,270,435	606	39,214	14,791	88	1,325,134
平 均	1,476,369	267	39,756	13,437	509	1,530,337
令和4年	2,649,836	3,041	43,800	25,695	0	2,722,372



(5) 火災による死者及び負傷者

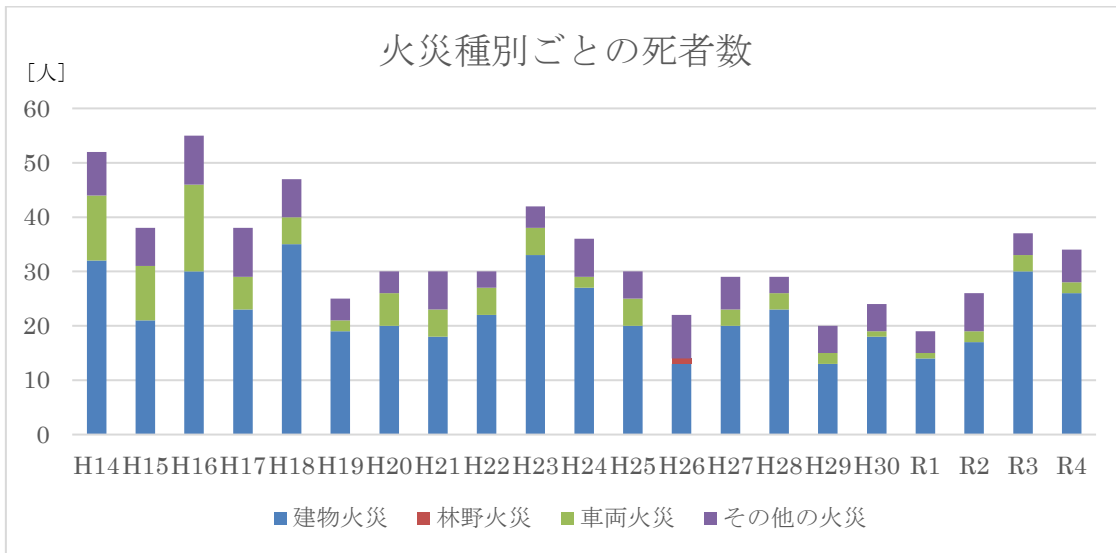
ア 火災種別ごとの死者数

令和4年中の火災による死者数は34人で、前年より3人(△8.1%)減少している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが26人で、死者総数の76.5%を占めている。次いでその他火災6人(17.6%)、車両火災2人(5.9%)の順となっている。

過去20年の平均と比べると、合計はほぼ平均と同じで、建物火災は上回っている。

○ 表2-9 火災種別ごとの死者数

区 分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
建物火災	32	21	30	23	35	19	20	18	22	33	27
林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	12	10	16	6	5	2	6	5	5	5	2
その他の火災 (船舶火災含む)	8	7	9	9	7	4	4	7	3	4	7
計	52	38	55	38	47	25	30	30	30	42	36
区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4
建物火災	20	13	20	23	13	18	14	17	30	22.4	26
林野火災	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0
車両火災	5	0	3	3	2	1	1	2	3	4.7	2
その他の火災 (船舶火災含む)	5	8	6	3	5	5	4	7	4	5.8	6
計	30	22	29	29	20	24	19	26	37	33.0	34



イ 火災種別ごとの負傷者数

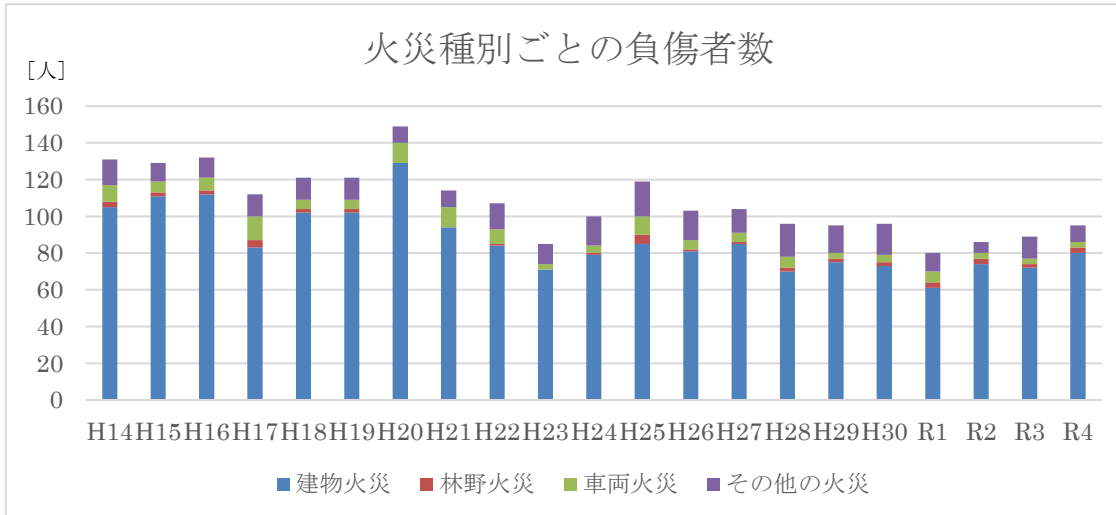
令和4年中の火災による負傷者は95人で前年に比べ6人(6.7%)増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが80人で、負傷者総数の84.2%を占めている。次いでその他火災9人(9.5%)、林野火災が3人(3.2%)、車両火災が3人(3.2%)の順となっている。

過去20年間の平均と比べると、合計は平均を下回った。

○ 表2-10 火災種別ごとの負傷者数

区分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
建物火災	105	111	112	83	102	102	129	94	84	71	79
林野火災	3	2	2	4	2	2	0	0	1	0	1
車両火災	9	6	7	13	5	5	11	11	8	3	4
その他の火災 (船舶火災含む)	14	10	11	12	12	12	9	9	14	11	16
計	131	129	132	112	121	121	149	114	107	85	100

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4
建物火災	85	81	85	70	75	73	61	74	72	87.4	80
林野火災	5	1	1	2	2	2	3	3	2	1.9	3
車両火災	10	5	5	6	3	4	6	3	3	6.4	3
その他の火災 (船舶火災含む)	19	16	13	18	15	17	10	6	12	12.8	9
計	119	103	104	96	95	96	80	86	89	108.5	95



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は逃げ遅れ 12 人 (35.3%)、放火自殺 5 人 (14.7%)、着衣着火 2 人 (5.9%)、出火後再進入 0 人 (0.0%) の順となっている。

○ 表 2-11 火災による死者の生じた原因【単位：人・%】

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4	構成
逃 げ 遅 れ	4	6	9	6	15	8.0	12	35.3
出火後再進入	1	0	0	0	1	0.4	0	0.0
着 衣 着 火	4	2	0	2	2	2.0	2	5.9
放 火 自 殺	5	7	4	8	5	5.8	5	14.7
その他(不明・調査中)	6	9	6	10	14	9.0	15	44.1
計	20	24	19	26	37	25.2	34	100

エ 年齢別の死者数

年齢別の死者数は、65 歳以上が 23 人と全体の約 7 割 (67.6%) を占めている。

○ 表 2-12 年齢別の死者数【単位：人・%】

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4	構成比
0 歳 ~ 5 歳	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6 歳 ~ 64 歳	4	5	5	9	15	7.6	11	32.4
65 歳 以上	16	19	14	17	22	17.6	23	67.6
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	20	24	19	26	37	25.2	34	100

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他 (不明・調査中) を除き 6 歳から 64 歳は放火自殺、65 歳以上は逃げ遅れが最も多くなっている。

○ 表 2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係【単位：人】

区 分	0 歳~5 歳	6 歳~64 歳	65 歳以上	不明	計
逃 げ 遅 れ	0	2	10	0	12
出火後再進入	0	0	0	0	0
着 衣 着 火	0	0	2	0	2
放 火 自 殺	0	3	2	0	5
その他(不明・調査中)	0	6	9	0	15
計	0	11	23	0	34

カ 死因別の状況

死因別の死者数は、一酸化炭素中毒・窒息 12 人 (35.3%)、火傷 7 人 (20.6%)、自殺 5 人 (14.7%)、その他 4 人 (11.8%)、骨折・打撲等 1 人 (2.9%) となっている。

○ 表 2-14 死因別の状況【単位：人・%】

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	2	4	5	3	15	5.8	12	35.3
火 傷	6	10	2	10	10	7.6	7	20.6
骨折・打撲等	0	0	0	0	0	0	1	2.9
自 殺	5	7	4	7	5	5.6	5	14.7
そ の 他	2	3	2	1	1	1.8	4	11.8
不 明	5	0	6	5	6	4.4	5	14.7
計	20	24	19	26	37	25.2	34	100

キ 死者の男女別の状況

男女別の死者数は、男性 22 人 (64.7%)、女性 12 人 (35.3%) となっている。

○ 表 2-15 火災による男女別死者数【単位：人・() 構成比%】

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4
男性	15 (75.0)	9 (37.5)	12 (63.2)	17 (65.4)	30 (81.1)	22 (64.7)
女性	5 (25.0)	15 (62.5)	7 (36.8)	9 (34.6)	7 (18.9)	12 (35.3)
計	20	24	19	26	37	34

(6) 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移

令和 4 年の出火件数を、過去 20 年間の平均出火件数 841 件と比較すると、207 件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、すべての種別で平均出火件数を下回っている。

○ 表 2-16 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移と平均

区 分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
建物火災	560	529	539	524	488	529	494	443	417	418	398
林野火災	49	27	48	46	30	49	34	54	35	34	21
車両火災	146	151	151	133	134	112	125	119	95	90	81
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の火災	357	235	314	266	337	332	299	329	255	299	257
計	1,112	942	1,052	969	989	1,022	952	945	802	842	757
区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均	R4
建物火災	427	407	358	333	337	336	318	316	335	425	333
林野火災	49	33	17	21	27	33	24	24	18	34	22
車両火災	84	77	69	78	81	56	60	56	67	98	71
船舶火災	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	403	351	230	254	222	300	222	211	191	283	208
計	963	869	674	686	667	725	624	607	611	841	634

